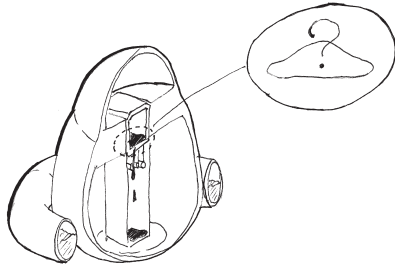




令和元年 5 月 8 日 (水)

おもて

デブリって  
どう取る？



燃料デブリはどう処理  
されるのか。処理時の安全  
性・監視体制はどうか。

うら

燃料デブリはどのように処理されるのか。

ロボットや遠隔操作技術を用いて  
作業員の安全性を確保するための研究  
がされている。

また具体的にどのようなロボットで処理  
されるかは決まっていない。なぜなら、  
デブリには、様々な硬さが存在していて、  
そのデブリに最適な方法で取り出さな  
くてはならない為、現在廃炉ロボコン  
や研究によって言式行錯誤の最中である。

デブリがどのようなものか。  
デブリ摘出ロボットの開発。

おもて

廃炉後、その土地の利用はできるの？

人は来るのか  
放射線量はどうか  
土地の地下水は安全か  
ホットスポットは残るのか

うら

廃炉後の建物を残すのか  
Q. その後の土地利用はどうするか

A. 明確な答えはないが、いくつかの例がある

① フランスの博物館のように資料館にする

② チェルノブイリのようにツアーを開く

③ ドイツのカルカー原発のように遊園地を  
建設する

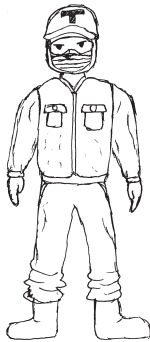
④ フランスのように、基礎の上に新しい原子力  
施設を作る

⑤ 東海村の施設は、さら地にした実績もある

人が常にいるような家々にする  
ことは難しいが、汚染と向き合う  
方法を考えることが大切

おもて

作業員の人は安全なの？



作業員の人はどのくらい被ばくするの？  
又、その放射線被ばくがどのような健康被害を与えるレベルなのか。

うら

廃炉作業中の作業員に放射線の影響はないか。

実際に建屋内で作業をする作業員には多くのルールがあります。

・場所ごとの放射線による、着ている装備が決まっている。

・場所ごとに作業をする時間が決まっている。

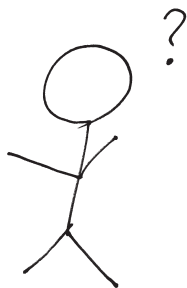
・建屋中に入れば、必ず計測器を持つ。

・建屋への経路は一方通行になっていて放射線が外に出るようになっている。

・他にも多くのルールが決まっています。作業員の安全は守られています。

おもて

なぜ興味を持ってないのか？



・廃炉について関心・興味を持ってない

・ニュースで流れていても専門用語が多いため分からない

・難題だと思ってしまう

うら

廃炉に興味を持たない人々がいるがどのようにして興味・関心を向けさせることができるのか。

~~倫理観を刺激して、~~

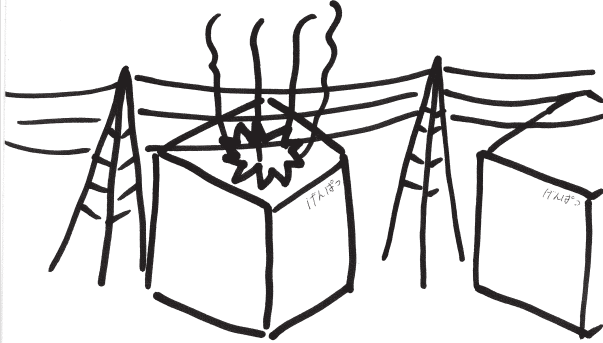
廃炉について具体的な説明を行い、自分との関係性を気づかせる。

そのためには、今後このような事故を発生させないためには一人一人の意識が関係していることを気づかせる。

廃炉について興味を持ち続けなければならぬ状況を改善することが大切。

おもて

# 原発は怖い？



- ・また事故が起こる？
- ・放射線は目に見えない
- ・8年たっても収束していない

うら

過去に事故を起こしている福島原発のイメージアップをするにはどうすればいいか？

事故後には原子力規制委員会が設置され、原子力の安全基準は高くなっている。また、万が一に備え、津波による浸水対策や緊急時の冷却機能確保など多様な対策がとられている。

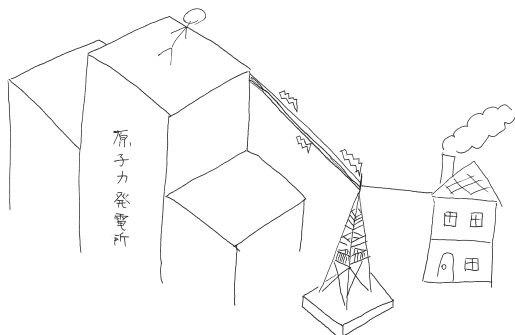
廃炉についても同様に作業の可視化、現状等を強く発信しなければいけない。TwitterやInstagram、YouTubeなどアクセスしやすく、拡散力の強いコンテンツを利用する策も有効なと思う。

福島第一原発、多くの人が持つイメージは事故直後のあの姿のままなのではないか、まずは今の姿を見せるということに意義があると思う。

SNSや動画投稿サイトによる情報の発信を促していく。

おもて

# 原子力発電所はいるの？



今回の事故がとてつもない危険であることが分かったが、原子力発電所が今後は必要か。

うら

今回の事故がとてつもない危険であることが分かったが、原子力発電所が今後は必要か。

現状では、日本の原子力発電所は稼働していないが、電力は足りている。

しかし、電力の安定供給には原子力発電所が必要であると思う。

そのためにも必要かどうかを再検討するために、現在問題になっている廃炉を完了させ原子力発電に対する不安要素を取り除かなければならない。

早急な廃炉作業が大切である。



